

# 転倒転落・せん妄対策と自律の尊重

—管理者として倫理的課題としてどうとらえ、どう話し合うか—

## 日時

2024年2月3日（土曜）  
AM 9:30 ~ PM 12:00

## 方法

ZOOMによるWEBセミナー  
パソコン、タブレット、スマートフォンで受講できます

## 問合せ先

日本ホスピス緩和ケア協会 事務局  
〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口 1000-1  
TEL0465-80-1381 info@hpcj.org

緩和ケア病棟の重要な役割は、症状緩和を行うだけでなく、患者の自律性を保持し、安心できる環境で患者の希望に沿ったケアを提供することです。しかし、症状緩和のためにオピオイド鎮痛薬を使用し、がんや合併症により衰弱傾向が進むと、せん妄や転倒転落による事故のリスクが日々高まっています。事故を防止するための体動センサーの設置や、混乱した行動を抑制するための向精神薬の使用などがしばしば検討されることでしょう。しかし、このような対策が患者の自律性や尊厳を損ない、時にはスピリチュアルペインを引き起こす可能性もあります。

病棟管理者には、転倒転落・せん妄対策における倫理的課題を常に意識して、チーム内での話し合いを促すことが求められます。このセミナーで、安全確保と倫理的配慮の両立に向けた管理者の役割について話し合いましょう。

## プログラム

### 第1部 レクチャーと発表

<レクチャー> 浅井 篤（東北大学 医学部公共健康医学講座 医療倫理学分野）

「転倒・せん妄対策を巡る倫理的課題への多職種チームアプローチ」

<会員施設からの発表> 伊藤 正道（刈谷豊田総合病院 がん看護専門看護師）

「緩和ケア病棟におけるせん妄に対する事前ケアの実践の一考察」

### 第2部：小グループでのディスカッションと全体討論



対象：ホスピス・緩和ケア病棟の 医長および看護師長

申込期間：2023年11月15日（水）～2024年1月16日（火）

※Zoomの定員上、申込者数が500名になり次第受付を終了いたします

受講料：無料

申込方法：右記のQRコードまたは協会ホームページの管理者セミナー参加申込フォームからお申し込みください。

受講方法は参加が確定した方にメールにてご案内いたします。

主催：特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会



[申込フォームQRコード]